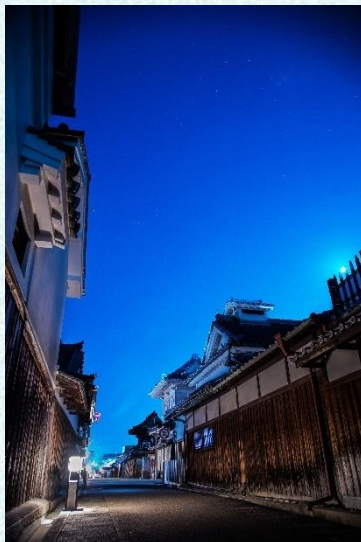




企業版ふるさと納税で 富田林市をご支援ください

法人関係税
軽減効果
最大約 **9割**



富田林市では、企業版ふるさと納税制度（地方創生応援税制）を活用して本市の地方創生に資する取り組みを応援していただける企業（団体）様を募集しています。

2024.4月版

企業版ふるさと納税とは

企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）は、本市が実施する地方創生に資する取り組みに対して、本社が本市以外に所在する企業様から10万円以上の寄附をいただいた場合に、寄附額の最大**約9割**が**法人関係税から税額控除**される制度です。

■寄附企業様のメリット

税額控除

法人関係税において、寄附額の約9割に相当する税額控除を受けることができます。

社会貢献

社会貢献に取り組む企業としてのPR効果（SDGsの達成など）が期待できます。

パートナーシップの構築

企業版ふるさと納税を通じた連携により、本市との新たなパートナーシップが構築できます。

■富田林市にご寄附いただくと

【10万円以上のご寄附】

市長が拝領し感謝状を贈呈のうえ記念撮影。広報誌をはじめ市公式の広報媒体への掲載とマスコミにプレスリリースします。

【100万円以上のご寄附】

上記①と同様ですが、感謝状に代わり市条例規定による表彰状（善行賞）を贈呈します。

寄附に際しての留意事項

- ① 1回あたり10万円以上の寄附が対象です。
- ② 寄附を行うことの代償として経済的な利益を受け取ることは法律により禁止されています。
- ③ 本社（地方税法における「主たる事務所または事業所」の規定）が本市に所在する場合は、制度の対象となりません。

制度活用をお考えの際は事前にお問い合わせください

お問い合わせ 富田林市市長公室 都市魅力課

TEL 0721-25-1000(内線328)
Email furusato@city.tondabayashi.lg.jp



特に寄附をお願いしたい富田林市の取り組み その1

これらのメニュー以外にも寄附を募集していますので、ぜひご相談ください。

2024.4月版

路線バスの廃止に伴う新しいスタイルの公共交通に向けて プロジェクト名 地域公共交通活性化事業



本市を取り巻く課題とプロジェクトの目的



目標額 100万円

産業まちづくり部交通政策室

0721-25-1000 (内線416)
koutsu@city.tondabayashi.lg.jp

富田林市、太子町、河南町、千早赤阪村の南河内地域で100年近くにわたり利用されてきた「金剛バス」が、令和5年12月20日をもって廃止されました。年間約110万人が利用し地域住民の日常生活に欠かせなかった金剛バスの代替えとして、沿線4市町村並びに市内路線バス事業者の協力により新たな公共交通が運行をスタートしました。

本プロジェクトは、公共交通の維持に関する全国的な課題に対処し、沿線4市町村と関係機関が連携・協力し、地域住民の移動手段を将来にわたり確保し、安心して暮らせる地域社会を維持するための取り組みです。

プロジェクトの内容(ご寄附の活用)

新たな公共交通については、沿線4市町村で構成する法定協議会が運営主体となり、利用者の多い5路線を近鉄バス及び南海バスの2社が運行するほか、沿線4市町村それぞれが運営するコミュニティバス等が補完するなど、このプロジェクトにかかわるすべての事業主体が、それぞれの役割のなかで可能な資源を活用しながら構築することに努めました。

今年度は、コミュニティバス等の運行を引き続き継続しながら、長期的に安定した地域公共交通の確保維持ができるよう、広域版の地域公共交通計画の策定や、路線バスの転回地の確保等に、4市町村で連携して取り組みます。



富田林のこどもの未来を応援

プロジェクト名 とんだばやし子ども食堂事業



本市を取り巻く課題とプロジェクトの目的



目標額 100万円

こども未来部こども政策課

0721-25-1000 (内線291)
k-seisaku@city.tondabayashi.lg.jp

本事業は、居場所の提供や食事の提供、学習支援などを通じて、富田林市で暮らす子どもやその保護者を支援する地域の子ども食堂に対し、その活動を支援することを目的としています。

プロジェクトの内容(ご寄附の活用)

富田林市内には、民間団体等が運営する13箇所の子ども食堂があり(令和6年3月1日時点)、年間でのべ13,000人程度の方が利用しています。各団体が、今後も地域のこどもの居場所として食堂を運営されるよう、また、市内16小学校区全てに子ども食堂が開設されることをめざして、食材費等の補助事業を実施しています。



特に寄附をお願いしたい富田林市の取り組み その2

2024.4月版

ミューラルで作る新しい観光

プロジェクト名 富田林ミューラルプロジェクト



目標額 100 万円

生涯学習部生涯学習課

0721-25-1000 (内線582)
s-gaku@city.tondabayashi.lg.jp

本市を取り巻く課題とプロジェクトの目的

若者会議（第1期）からの提案事業として、市内に5つウォールアート（ミューラル）を描き、これらを巡るという新しい観光コンテンツにしてはどうか、という意見が採用されました。これを受け、本市が従来から取り組んできた「まちかどミュージアム事業」とも連携し、一昨年には金剛中央公園に第1号のウォールアートが完成しました。

プロジェクトの内容（ご寄附の活用）

市内3箇所目のウォールアート（ミューラル）として、レインボーホール（市民会館）に新たな観光スポットを創造します。観光名所として多くの皆さんに巡っていただけるよう今後もウォールアートを市内に設置する予定です。

関西万博を契機とし、市内の地域活性化を図る

プロジェクト名 万博機運醸成イベント「とんだばやし万博」開催プロジェクト



目標額 25 万円

市長公室政策推進課

0721-25-1000 (内線521)
plan@city.tondabayashi.lg.jp

本市を取り巻く課題とプロジェクトの目的

2025年に開催を控える大阪・関西万博の機運を高めるとともに、万博を契機とした市内の地域活性につながります。

また、本市若者会議からの施策提案を踏まえ、多世代・多文化の交流をテーマにした、市民の交流と万博開催の認知度を広げます。

プロジェクトの内容（ご寄附の活用）

市民参加により、市内各所において文化芸術、SDGs、大阪・関西万博をテーマとした、芸術作品の展示やワークショップ、ステージなどを複合的に開催するイベントを実施します。

身近な公園でBBQをしてみませんか

プロジェクト名 金剛中央公園におけるBBQ社会実験イベント事業



目標額 25 万円

産業まちづくり部金剛地区再生室

0721-25-1000 (内線 452)
kongo-saisei@city.tondabayashi.lg.jp

本市を取り巻く課題とプロジェクトの目的

開発から半世紀以上が経過し、オールドニュータウン問題が顕在する本市金剛地区では、住民主体の取組活性化と都市空間再編のソフトとハードの両面からまちづくりを進めています。そのような中、本事業の対象地となる金剛中央公園については、「こどもたちの笑顔があふれ、みんなで豊かさを育むサードプレイス」としてリニューアル整備を予定しています。再整備後の公園空間が、住民にとって多様に使いこなすことができる「場」となるよう、公園空間におけるBBQ社会実験イベントを実施します。

プロジェクトの内容（ご寄附の活用）

金剛地区では「マルチパートナーシップによる多面的な魅力の創出」を都市空間再編のコンセプトに設定し、これまでも金剛地区エリアブランディング公民連携事業など、金剛地区のエリア価値向上に向けた社会実験イベントを官民連携で実施しています。今回は公園空間の自由な使いこなしを検証するため、BBQ社会実験イベントを企画しました。また、「親子で楽しめる」をキーワードにした連動イベントも企画しています。



市民と農とのつながりの推進

プロジェクト名 富田林産なすPR事業



目標額 25 万円

産業まちづくり部農業創造課

0721-25-1000 (内線445)
nou@city.tondabayashi.lg.jp

本市を取り巻く課題とプロジェクトの目的

何となく「富田林市は農業が盛んである」という感覚をお持ちの市民の皆さんに、実際に富田林産なすを「見て、楽しみ、食してもらう」ことにより地元農産品の素晴らしい価値を体験してもらいます。

優れた品質を有し、収穫量大阪府内No.1であることを知ってもらうことを通じて、富田林産なすの地産地消を促進するとともに、自然が多く残る本市の魅力を再認識いただき、シビックプライドの醸成をめざします。

プロジェクトの内容（ご寄附の活用）

「富田林産のなす」の魅力を知ってもらうため、市民参加型でインパクトのある体験型イベントを開催します。

